

## おう吐時の対応について

12月16日(水)、うるま市給食センターより、おう吐時の対応について協力依頼がありました。

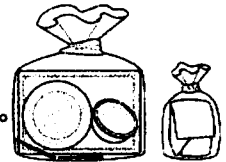
### 給食時間中におう吐

- ① 食器に残っているものや、おう吐物は食缶に戻さない。
- ② おう吐物が付着、飛散した食器類はその他のものと一緒にはしない。  
※ 絶対に回収(配送車)に持たせない。



### 指定の消毒方法で、机、周辺の床、食器等を消毒する

- ① 保健室か職員室から、おう吐処理セットを受け取る。(養護教諭に連絡)  
※ 詳しい消毒方法は、裏面を参考にして下さい。
- ② おう吐物が付着・飛散した食器類、食缶は袋に密封し、保健室へ預ける。
- ③ 養護教諭で、おう吐物が付着した食器類、はしやスプーンは処分する。



### 給食センターへ、おう吐があった旨を連絡する

- ① 給食担当者か養護教諭で、給食センターへ連絡する。
- ② 給食センターから担当者が、おう吐物が付着した密封した食缶を回収。



#### 【 感染予防のために、うるま市給食センターからのお願い 】

- たとえ軽い症状であっても、おう吐があった場合はノロウイルスを疑い、必ず上記の対応をとってください。
- 配膳室の衛生管理をしっかりとお願いします。→天願小では、毎日給食委員会児童がスーパー次亜水で使って、清掃・除菌を徹底しています。
- 特にトイレ後の手洗いと、食前の手洗いを徹底してください。
- おはしや果物類を机上に配らず、ちゃんとプレート皿の上に置いてください。

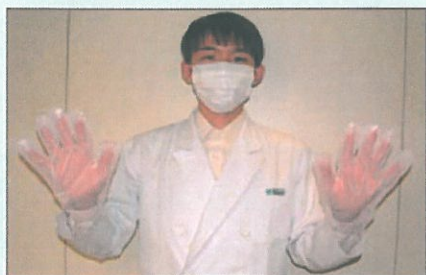
# おう吐物・ふん便は正しく処理しましょう

- 処理をする人自身が感染しないように、気をつけましょう。
- ノロウイルスが残らないように、確実に消毒をしましょう。
- すぐに処理できるよう、次のものを普段から準備しておくとう便利です。

## 処理用セット

使い捨て手袋、マスク、ガウンやエプロン、ふき取るための布やペーパータオル、ビニール袋、次亜塩素酸ナトリウム、バケツなど

- ① 処理をする人以外が近づかないようにします。
- ② 処理をする人は手袋とマスク、エプロンを着用します。



カーペット等は変色する場合があります。

- ③ 汚物（おう吐物・ふん便）は、布やペーパータオル等で外側から内側に向けて、汚れた面を折り込みながら静かにぬぐい取ります。



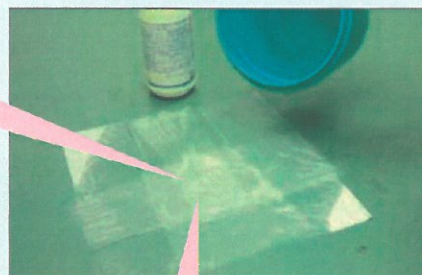
同一面でごすると汚染を拡げるので注意してください。

- ④ 使用した布やペーパータオル等は、すぐにビニール袋に入れ、処分します。



0.1%次亜塩素酸ナトリウムを染み込む程度にビニール袋内に入れ、消毒することが望ましいです。

- ⑤ 汚物が付着していた床とその周囲を0.1%次亜塩素酸ナトリウムを染み込ませた布やペーパータオル等で覆うか、浸すようにふきます。



次亜塩素酸ナトリウムは鉄などの金属を腐食させるので、ふき取って10分程度たったら水ふきします。

0.1%次亜塩素酸ナトリウムの作り方は4ページを御覧ください。

- ⑥ 使用した着衣は廃棄が望ましいですが、消毒する場合は4ページの手順で行います。



- ⑦ 手袋は、付着した汚物が飛び散らないよう、表面を包み込むように裏返して外します。手袋は、使った布やペーパータオル等と同じようにビニール袋に入れ、処分します。



処理後は手袋を外して手洗いをします。

### ※その他の留意点

- 可能な場合は、処理後にシャワーを浴びる。
- 処理時とその後は、部屋の窓を大きく開けるなどして換気し、換気設備がある場合は必ず運転する。
- 下痢をしている人がいるときは、トイレのドアノブも消毒する。